



2025年4月、食科学部(食科学科・栄養学科)を開設！ 「食」で拓く新たな世界。―「食」ですべての人のWell-Beingに貢献する。

●●食科学科●●
生活者視点で「食」を科学的に探究する

化学を中心とした基礎科学科目で学問の土台となる学力を身につけ、その上で食品の機能性、嗜好性、加工・貯蔵特性などの幅広い専門科目を学び、食べ物のおいしさ、食感、機能などについて知識を深めます。食医学系・調理学系・栄養学系の各科目を三位一体で学修。さらに食品会社で「商品開発」を学ぶ独自の講義や演習も多数開講されます。3年次以降は応用となる専門科目、卒業研究をバランス良く学びます。

食品素材の特徴、食品の生産・加工・貯蔵・安全性、機能性、食文化など幅広い知識と技術を生かし、「食」の魅力を多角的に発信できるプロフェッショナルをめざします。企業や研究機関において食品開発や基礎研究に携わる研究者、教育者、起業家など、活躍の場はさまざまです。

中学校・高等学校（家庭）の教員免許や、各種フードスペシャリストの受験資格を得ることも可能です。

充実した基礎科学科目、豊富な実習・実習

●●栄養学科●●
医学的視点で「栄養学」を深く学び
管理栄養士をめざす

医学的視点をもつ栄養の専門家として、「医歯学」を中心とした基礎科学と「臨床」における技能や実践力を修得するために、栄養学、医学・保健学、食品学、調理学などを、きめ細かな教育体制のもと、質の高い講義と豊富な実験・実習で学びます。

臨床医学、臨床栄養学、公衆栄養学、栄養教育論などの専門知識を学修。チーム医療に欠かせないマネジメント能力やコミュニケーション能力も育み、医療職の一員として、医療現場で責任ある職務を遂行できる医学的視点をもった、人々のWell-Beingを支える実力派の管理栄養士をめざします。

卒業と同時に、栄養士免許、管理栄養士国家試験の受験資格が得られ、医療、福祉、教育、行政、給食、食品産業、スポーツ、学術研究など幅広い分野で活躍できます。

また、栄養教諭免許を取得すれば、学校教育における食育の専門家になることが可能です。

両学科とも食品衛生管理者、食品衛生監視員（いずれも国家資格）が取得可能です。

食科学部の学び、カリキュラムはこちらから！

- (1) 成瀬仁蔵
1858（安政5）年、現在の山口市で武士の家に生まれる。教育者として、女子の中等教育機関の校長として尽くすが、1890（明治23）年の渡米を転機に、日本で女子のための高等教育機関をつくることを決意。1896（明治29）年に「女子教育」を上梓、女子大学設立運動を起こして、1901（明治34）年に日本女子大学校を創設。女子高等教育への道を開いた。1919（大正8）年逝去。
- (2) ラーニング・コモンズ
少人数による授業をはじめ、各種ミニ講義や、学部生・大学院生が担当するラーニング・サポーターによる学修相談を行い、学生たちはコミュニケーションを深めながら自発的に学ぶ。
- (3) 桜楓会
正式名称は「一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会」で、1904（明治37）年に創設。国内外に約150の支部を有し、在学生のための奨学助成、留学生との交流・支援などを行っている。女性で初めて帝国大学（東北大学）で学んだ農学博士・丹下ウメヤ、女性解放・世界平和運動に偉大な足跡を残した平塚らいてう、作家で文化勲章受章者の平岩弓枝も卒業生。建築界のノーベル賞ともいわれる米プリツカー賞を受賞した建築家の妹島和世氏や脚本家の大石静氏、漫画家の高橋留美子氏らの活躍は社会的にも高く評価されている。

始まりました。

さらに、学習院大学・学習院女子大学・立教大学・早稲田大学との単位互換制度「Campus」や、同志社女子大学との学生交流協定などダイナミックな学びも提供しています。このほか、学ぶ意欲を支援するため、多くの賞や奨学金を設けています。人物・学業共に優秀な学生を表彰する「日本女子大学学業成績優秀賞・研究奨励賞」（授業料後期免除）や創立者を記念した「成瀬仁蔵先生記念賞」（卒業時に記念品を授与）、経済支援を目的とした「日本女子大学桜楓奨学金」、「日本女子大学泉会学業支援給付奨学金」（一時金給付）、2025年度から始まる入学前予約型「桜楓樹給付奨学金」（4年間の学費等給付）などがあります。

め、多くの賞や奨学金を設けています。人物・学業共に優秀な学生を表彰する「日本女子大学学業成績優秀賞・研究奨励賞」（授業料後期免除）や創立者を記念した「成瀬仁蔵先生記念賞」（卒業時に記念品を授与）、経済支援を目的とした「日本女子大学桜楓奨学金」、「日本女子大学泉会学業支援給付奨学金」（一時金給付）、2025年度から始まる入学前予約型「桜楓樹給付奨学金」（4年間の学費等給付）などがあります。



日本女子大学

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 入試課 TEL 03-5981-3786 <https://www.jwu.ac.jp/unv/>

私が動く、世界がひらく。 2025年に食科学部を開設！ 7学部16学科の女子総合大学へ

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、2024年に建築デザイン学部、2025年に食科学部を開設。文理融合の教育環境を持つ女子総合大学です。

創立者である成瀬仁蔵⁽¹⁾の教育理念を集約した三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」は明治から令和の現在にまで受け継がれ、各界にリーダーを輩出してきました。また卒業生以外にも門戸を開くリカレント教育など、誰もが生涯を通じて学び、成長し続ける社会を創るための機会を提供しています。

そして、成瀬の教育方針である「自学自動」、すなわち自ら学び、自ら行動する学修姿勢を育む環境で、多様で非連続に変化する社会において、新しい明日を共に創る人材を育てています。

総合力を生かした文理融合の多様な教育を推進

日本女子大学は、女性が主体性と自立性を確立する場として、多様性に富む優れた教育環境を有しています。2021年の創立120周年を機に、建学以来の伝統ある家政学部、多くの文学者やジャーナリストを輩出した文学部、全国に先駆けて開設した人間社会学部、私立女子大学では唯一の理学部を、山手線内という都心にあるながら緑豊かな創立の地・目白キャンパスに統合しました。卒業生であり世界的な建築家の妹島和世氏によるランドデザインのもと、新しくなったキャンパスに大学と大学院のすべてが集結し、女子総合大学として文理融合の多様な教育を推進しています。



百二十年館（手前）と百年限

近年は広い教養と高い専門性を磨いて社会に送り出す教育機関であり続けるよう、教育改革を進めています。2022年度から理学部2学科は学科の教育・研究内容を明確に反映させ、数物科学科は数物情報科学科に、物質生物科学科は化学生命科学科に名称を変更。2023年度には、「脱教室・脱キャンパス型」の実践的なカリキュラムで「越境力」を育む国際化学部を開設。2024年度には家政学部住居学科を基とし、「住まう」視点を根底に置いた「建築デザイン」を学ぶ建築デザイン学部、2025年度には、現在の家政学部食物学科を発展させ、科学的観点から「食」を学び社会貢献を目指す「食科学部」食科学科、栄養学科を開設します。

日本女子大学は、入学時から教員によるアドバイザー制度を取り入れ、少人数による教育を充実させるなど細やかに学生を支援。各学部とも少人数の演習を重視した質の高い授業が特色で、卒業研究（卒業論文、卒業制作）は全学科必修です。

専門科目に加えて、「教養を深める科目」で広い視野も養っています。その代表的な科目が、成瀬が創立以来続けた講義「実践倫理」が原点の「教養特別講義」です。「自ら人生を切り開くとともに社会に貢献できる人材」の養成を目指し1966年に始まったもので、学園の理念や精神を学び、各界で活躍する講師の講演で思考を深めます。

続いて2026年度に、文学部2学科の名称について、日本文学は文学だけでなく言葉そのものや教養方も学ぶため「日本語日本文学科」に、史学は歴史だけでなく人の心の表れである文化についても学ぶため「歴史文化学科」に変更予定です。2027年度には、現在の家政学部家政経済学科を基礎とし、経済学および経営学について理論から応用実践まで、幅広く体系的に学ぶ「経済学部経済学科（仮称）」の設置を構想中（※）です。*本計画は構想中であり、内容は変更となる場合があります。

他方で、2021年に立ち上げた社会連携教育センターでは、多くの

学際的に提供するカリキュラムは約300科目に上り、学部を横断的に学べる自由選択科目も充実。他学部や他学科の科目を履修することで幅広い教養を身につけます。また、幅広い思考力、表現力、実践力を身につけるために、「キャリア」「社会連携」「AI・データサイエンス・ICT」という3つの基盤的教育認定プログラムを2021年度から開

国際化学部では、1年次必修の「スタディ・アプロード・プログラム（海外短期研修）」で海外を直接体験し、2〜3年次必修の「実践プログラム（海外・国内）」で新たな気づきを成果物としてまとめあげ、ICTを駆使して発信します。異なる文化・地域・言語を直接体験して、さまざまな境界を越えて自分の殻を破り、「越境力」を育みます。

公認海外短期研修には、春や夏の長期休暇を生かして、語学や専門領域を学ぶ研修、異文化体験を目的とする研修などがあります。

また、世界の名門大学と交流協定を締結し、本学学生の派遣と協定大学学生の受け入れを行っています。米国の名門女子大学、ウェルズリー・

カレッジもその一つです。留学中に取得した単位は30単位まで卒業単位に認定され、4年間で卒業することも可能で、独自の奨学金制度を設けて経済的な支援も行っています。

女性の一生を見据えたきめ細かなキャリアサポート

創立当初から「実践倫理」という人格形成に資する授業を行ってきた日本女子大学では、「キャリア」を「生き方」としてとらえるキャリア教育を実施しています。社会への貢献や人生を豊かにするためのキャリアを主体的にデザインする力を養う「JWUキャリア科目」と「JWU社会連携科目」を必修としています。学生一人ひとりの「自己発見」と「自己実現」をサポートしています。これに加え、各種ガイドランスや個別支援など実践的な就職支援プログラムも展開。2024年3月卒業生の就職率は98・8%と極めて高い実績をあげています。内定先企業に対する学生の満足度も98・6%と高く、「就職に強い日本女子大学」の定評を

2025年の学部学科構成

- 食科学部 ※2025年4月開設
 - 食科学科/栄養学科
- 家政学部
 - 児童学科/被服学科/家政経済学科
- 文学部
 - 日本文学科/英文学科/史学科
- 人間社会学部
 - 現代社会学科/社会福祉学科/教育学科/心理学科
- 理学部
 - 数物情報科学科/化学生命科学科
- 国際化学部
 - 国際文化学科
- 建築デザイン学部
 - 建築デザイン学科